

午 前

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午前の試験問題数は 56 問で、解答時間は 1 時間 35 分です。

社会福祉概論

問題 1 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 地域福祉推進の担い手には、ボランティアや地域住民も含まれる。
- B 介護保険制度における要介護認定の2次判定は、保健、医療又は福祉に関する学識経験者から構成される介護認定審査会によって行われる。
- C 社会福祉士及び精神保健福祉士は、共に業務独占の国家資格である。
- D 生活保護制度の目的は、最低生活の保障と自立助長である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 2 社会福祉の財政と費用負担に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 近年の社会保障関係費は、国の一般歳出の約10分の1である。
- B 第一種社会福祉事業の公費の負担割合は、一律に国4分の3、地方公共団体4分の1である。
- C 共同募金は、都道府県の区域を単位として、その区域内の地域福祉の推進を図るために行われる寄附金の募集・配分活動を目的とする。
- D 介護保険制度における利用者負担は、応能負担を原則とする。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 3 最近の社会福祉行政の実施における国と地方の役割に関する次の記述のうち、正しいものに○，誤っているものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 地方分権推進一括法により，機関委任事務は廃止された。
- B 老人福祉施設の設置認可の権限が，国から市町村に移譲された。
- C 社会福祉行政の実施に必要な税源は，すべて地方に移譲された。
- D 福祉事務所の職員定数は，国が一律に定めることとなった。

(注) 「地方分権推進一括法」とは，「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」のことである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 4 介護保険制度に関する次の記述のうち，正しいものに○，誤っているものに×をつけた場合，その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 主治医の意見書には，都道府県知事の求めにより，疾病や負傷の状況等についての意見が記述される。
- B 要介護認定に不服のある者は，市町村に設置されている介護保険審査会に審査請求することができる。
- C 介護老人福祉施設では，入浴，排泄，食事等の介護その他の日常生活上の世話，機能訓練，健康管理及び療養上の世話を行う。
- D 介護老人保健施設に入所できるのは，要介護度が要介護1から要介護5と認定された者である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 5 パールマン (Perlman, H.) が社会福祉援助活動を構成する要素について述べた、
いわゆる「4つのP」に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 人 (Person)
- 2 問題 (Problem)
- 3 場所 (Place)
- 4 計画 (Plan)
- 5 過程 (Process)

問題 6 日本介護福祉士会倫理綱領に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 自己決定を最大限尊重し、自立に向けた介護福祉サービスを提供する。
- B プライバシーを保護するため、職務上知り得た個人の情報を守る。
- C 自らの待遇改善のために、他の関連する業務に従事する者と積極的な連携を図る。
- D 常に専門的知識・技術の研鑽に励むとともに、豊かな感性と的確な判断力を培い、深い洞察力をもって専門的サービスの提供に努める。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 7 平成12年12月の「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会」報告書に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 都市化と核家族化の進展、産業化、国際化の中で人々の「つながり」が弱くなっている。
- 2 社会経済環境の変化に伴い、新たな不平等・格差、支え合う機能の脆弱化が指摘されている。
- 3 最も有効な解決策として施設整備がある。
- 4 すべての人々を社会の構成員として包み支え合う (ソーシャル・インクルージョン) ための社会福祉を模索する必要がある。
- 5 「社会的孤立や孤独」の例として、孤独死、自殺、家庭内の虐待・暴力などがある。

問題 8 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 町村は、福祉事務所を設置しなければならない。
- B 社会福祉法人は、他の社会福祉法人と合併することができない。
- C 第1種社会福祉事業は、国、地方公共団体、社会福祉法人が経営することを原則とする。
- D 民生委員は、都道府県知事の推薦により厚生労働大臣が委嘱する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

老人福祉論

問題 9 高齢社会対策基本法に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 老人福祉法と老人保健法とを統合した高齢者保健福祉のための新しい法律である。
- B この法律の目的は、国民保健の向上及び老人福祉の増進を図ることである。
- C 展開されるべき基本的施策として、就業及び所得、健康及び福祉、学習及び社会参加、生活環境などが掲げられている。
- D 国に「高齢社会対策会議」を設置することが定められている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 10 平成15年に内閣府により行われた全国の60歳以上の男女を対象とした「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」の結果に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「ほとんど毎日外出している」という高齢者は、半数程度である。
- B 老人大学やカルチャーセンターなどの学習活動に参加している高齢者は、4割を超えている。
- C グループや団体で自主的に行われている地域活動に「参加したい」「参加したいが事情があつて参加できない」と答えた高齢者は、合わせて6割程度である。
- D 地域の福祉や環境を改善することを目的としたNPO活動に関心がある高齢者は、2割程度である。

(組み合わせ)

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | A | B |
| 2 | A | C |
| 3 | A | D |
| 4 | B | C |
| 5 | C | D |

問題 11 在宅介護支援センターの役割に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 基幹型支援センターは、地域型支援センターを統括する。
- B 基幹型支援センターは、地域ケア会議を開催する。
- C 地域型支援センターの介護福祉士は、居宅サービス計画を作成する。
- D 地域型支援センターでは、地域で生活する要援護高齢者の心身の状況等の実態を把握する。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 12 介護保険制度に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 介護保険の給付に要する費用は、利用者負担を除いて、40歳以上の被保険者が納付する保険料と、国及び地方公共団体による公費負担とから成り立っている。
- 2 保険給付は、被保険者の選択に基づいて、適切な保健医療サービスと福祉サービスが、多様な事業者又は施設から総合的かつ効率的に提供されるように配慮されなければならない。
- 3 保険給付は、要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するとともに、医療との連携にも配慮して行われなければならない。
- 4 保険給付の内容及び水準は、要介護状態となった場合においても、可能な限り居宅で、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮されなければならない。
- 5 行政がサービスの利用を決定する措置制度から、介護支援専門員がサービス利用を決定する仕組みに転換した。

問題 13 次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 高齢者総合相談センターは、高齢者及び家族の抱える保健、福祉、医療等に関する相談に応じるとともに市町村の相談体制を支援する。
- B 生活支援ハウス（高齢者生活福祉センター）は、過疎地に設置が限定されている小規模多機能施設である。
- C 介護実習・普及センターは、福祉用具などの展示、相談や助言をする介護機器普及事業のほかに、福祉用具貸与事業を行わなければならない。
- D シルバー人材センターは、市町村に設置され、高齢者に臨時的・短期的な就業の機会等を提供している。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 14 介護保険制度の実施状況に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 要介護・要支援認定を受けた人は、施行当初より大幅に増えているが、中でも要支援及び要介護1など、比較的要介護度が低い人の増加が目立っている。
- B 施設サービスと居宅サービスの利用状況を比較すると、居宅サービスの利用者数の増加が著しい。
- C 訪問看護の利用者数は、訪問介護の利用者数を上回るようになった。
- D 痴呆対応型共同生活介護（痴呆性高齢者グループホーム）の整備は、ゴールドプラン21（平成11年12月）の目標数値を超え、その後もさらに増加している。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 15 小規模生活単位型指定介護老人福祉施設に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 生活単位と介護単位を一致させたケアを行うことに特徴がある。
- B ユニットケアにおいては、入居者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援しなければならない。
- C プライバシー保護の視点から全室が個室であり、食事等も自室で行うことが原則である。
- D 介護報酬は、従来の介護老人福祉施設とは別体系となっており、相対的に低い額となっている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 16 介護保険施設における施設サービス計画に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護保険施設のうち、介護老人福祉施設と介護老人保健施設で作成が義務づけられているが、介護療養型医療施設は医療機関であるため義務づけられていない。
- B 施設の行事や週間予定表、日課を記載したものである。
- C 計画担当介護支援専門員が計画の原案を作成し、サービス担当者会議を開催して、他の担当者から専門的な意見を聞くことになっている。
- D 計画の原案について、入所者の文書による同意が必要であり、また、作成された計画は入所者に交付しなければならない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 17 老人クラブに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 会員は65歳以上で、クラブ活動が円滑に行える程度の同一地域に居住する者で組織しなければならない。
- B 地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、その事業は会員の会費のみで運営されることになっている。
- C 老人クラブ活動では生きがいを高め、健康づくりを進める活動やボランティア活動を通して地域を豊かにする各種活動を行う。
- D 介護保険制度の導入に伴い、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その活動及び役割が期待されている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 18 苦情の対応に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 都道府県国民健康保険団体連合会は、介護保険サービスを利用した要介護者等の苦情等を処理する。
- B 指定居宅サービス事業者には、苦情処理の窓口はない。
- C 老人福祉施設における苦情解決のための第三者委員は、設置主体にかかわらず都道府県知事が任命する。
- D 運営適正化委員会は、都道府県社会福祉協議会に設置される。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

障害者福祉論

問題 19 障害者基本計画（平成14年12月）の「基本的な方針」に関する次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

「21世紀に我が国が目指すべき社会は、障害の有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「A」とする必要がある。

「A」においては、障害者は、社会の対等な構成員として「B」を尊重され、自己選択と自己決定の下に社会のあらゆる活動に参加、参画するとともに、社会の一員として、その「C」を分担する。」

- | | A | B | C |
|---|------|----|----|
| 1 | 地域社会 | 人権 | 役割 |
| 2 | 地域社会 | 個性 | 義務 |
| 3 | 共生社会 | 人権 | 責任 |
| 4 | 共生社会 | 人格 | 役割 |
| 5 | 共生社会 | 個性 | 責任 |

問題 20 我が国の障害者福祉に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「完全参加と平等」は、1981年の国際障害者年のテーマである。
- B インテグレーションとは、「更生」と訳され、人間としての権利、資格、尊厳などの回復を意味している。
- C レスパイトサービスとは、介護を担っている家族に休息の機会を提供するサービスのことである。
- D ユニバーサルデザインとは、すべての人にとって使いやすい製品や住みやすい環境の創出を目指すデザインのことである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 21 我が国の精神障害者並びに精神障害者施策に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 入院患者の総数は、1990年以降、一貫して増加傾向にある。
- B 重点施策実施5カ年計画（新障害者プラン）では、条件が整えば退院可能とされる入院患者の数を、入院患者総数の約2分の1としている。
- C 平成5年の障害者基本法への改正によって、精神障害者が同法の障害者の定義の中に位置づけられた。
- D 精神障害者地域生活援助事業の実施主体は、都道府県である。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 22 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 知的障害者居宅介護等事業、児童居宅介護等事業、精神障害者居宅介護等事業は、いずれも居宅生活支援費の対象となっている。
- B 身体障害者居宅生活支援費の支給の決定の際、市町村は、居宅生活支援費を支給する期間及び指定居宅支援の量を定めなければならない。
- C 知的障害者居宅介護等事業には、身体介護、家事援助のみならず移動介護も含まれている。
- D 精神障害者居宅介護等事業の実施主体は、市町村である。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

リハビリテーション論

問題 23 国際生活機能分類（ICF）に関する次の記述のうち、正しいものに○，誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ICFの目的の一つは、健康状況等を表現するための共通言語を確立することにある。
- B 生活機能とは、心身機能・身体構造、活動、参加のすべてを含む包括用語として用いられている。
- C 生活機能に影響する背景因子として、環境因子と個人因子とがある。
- D 障害を、機能障害、能力障害、社会的不利の三つのレベルに分けて整理している。

（組み合わせ）

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 24 廃用症候群の症候として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 拘縮
- 2 褥瘡
- 3 無尿
- 4 深部静脈血栓症
- 5 精神活動低下

問題 25 リハビリテーションにかかわる国家資格の名称として、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 理学療法士
- B 臨床心理士
- C 義肢装具士
- D 障害者職業カウンセラー

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 26 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 医学的リハビリテーションでは、障害の医学的治療を行い、障害の改善、二次障害の予防、機能維持等を通して、自立生活を支援する。
- B 教育リハビリテーションでは、障害児・者の全面的発達を促進させ、課題への対応や生活技能を発達させ自己実現を図るよう援助する。
- C 社会リハビリテーションでは、障害者の社会生活力を高める視点から支援する。
- D 障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく職業リハビリテーションは、知的障害者や精神障害者を対象としない。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

社会福祉援助技術（演習を含む。）

問題 27 「終結」に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 利用者は、終結後には改めて相談することができない。
- B 今後いくつか解決すべき問題はあるものの、その解決を利用者が自らの力で対応できる場合は終結することがある。
- C 援助者は、意図的に終結を準備する。
- D 終結は、援助過程の一部ではない。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 28 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A アドボカシーとは、援助過程において援助者が、利用者の権利を擁護するための活動である。
- B エンパワメント・アプローチとは、利用者の潜在能力や可能性の強化と環境の改善を含めた主体的な問題解決を支援する援助方法である。
- C ワークビリティとは、利用者を取り巻いているフォーマル及びインフォーマルなネットワーク状況を確認して、支援体制を強化していく方法である。
- D コンサルテーションとは、関連機関や関連領域の専門家との相談等により、援助者が専門的助言や示唆を受けることである。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 29 社会福祉調査の方法に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 標本調査は、母集団からその一部を抽出して調査を行い、その標本の特性値から母集団の特性値を推定しようとする方法である。
- B 無作為抽出法は、調査者が母集団を代表すると思われる標本を恣意的に選び出し、標本を母集団に近似させる方法である。
- C 参与観察は、調査者自身が対象集団の内部に入り、体験を共にしながら、観察する調査方法である。
- D 「社会福祉施設等調査」における社会福祉施設の数は、全数調査によって把握している。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 30 グループワークの援助媒体に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 ソーシャルワーク関係
- 2 メンバーの相互作用
- 3 プログラム
- 4 社会資源
- 5 スーパービジョン

問題 31 ソーシャルサポートネットワークに関する次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

社会福祉実践において、デイサービス事業やショートステイ事業などに代表されるような公的機関や専門職が提供する「A」サポートと、家族や近隣者、そしてボランティアに代表される「B」サポートがあり、意図的に各種サポートの有機的な連携を活用しながら利用者を支援する方法の一つとして「C」がある。

A

B

C

- 1 インフォーマル——フォーマル——社会活動
- 2 フォーマル——インフォーマル——ケアマネジメント
- 3 オフィシャル——フォーマル——社会活動
- 4 フォーマル——インフォーマル——スーパービジョン
- 5 インフォーマル——フォーマル——ケアマネジメント

(社会福祉援助技術 (演習を含む。)・事例問題)

次の事例を読んで、問題32から問題34までについて答えなさい。

〔事例〕 (以下、名前はすべて仮名である。)

田中良子さん(介護福祉士・実習指導担当)(以下、「田中職員」という。)が勤務する特別養護老人ホームに先月、青木さん(73歳・男性)、鈴木さん(69歳・女性)、佐藤さん(76歳・女性)がほぼ同時期に入所して来た。3人は、脳血管障害で片麻痺などの障害がある。各人とも入所までの経緯は違うものの、ホームでの暮らしに不満を抱き、イライラしている様子である。青木さんは、「このホームには、話し相手がない。毎日、暇でつまらん」と、職員に不満をこぼしていた。先日、鈴木さんは、介護福祉士養成校の実習生の未熟な介護技術に怒りをあらわにし、「あなたは、介護福祉士には向かない!」と発言し、学生とトラブルを起こした。また、1週間程前に、元来、几帳面で真面目な性格の佐藤さんは、以前から会う約束をしていた親友の訃報を知りとても落ち込み、ここ数日は、自室で涙ぐんでいる様子である。彼らを担当する田中職員は、何とか3人がホームでの生活に慣れ、生き生きしてもらいたいと考え、週1回のグループワークを開始した。

問題 32 トラブルを起こした鈴木さんと実習生に対して、田中職員はどのように対応すべきか、次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 鈴木さんと実習生の両方からそのときの状態を聴いた後、実習生に、基本的な介護技術を指導した。
- B 鈴木さんから、そのときの気持ちを丁寧に聴いた。
- C 鈴木さんに対して、実習生に謝罪してはどうかと説得した。
- D 実習生の実習を、一方的に中止した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 33 田中職員の佐藤さんに対する支援のあり方に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 孤独感を持たないように、佐藤さんに対して意図的に声かけをする。
- B 定期的に佐藤さんの居室を訪ね、今の気持ちを丁寧に聴くようにする。
- C 佐藤さんに、「親友のことは忘れて、頑張ってください！」と強く励ます。
- D 佐藤さんの、表情、発言、行動、食事量、睡眠状態等の変化について注意するよう他のスタッフに伝える。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問題 34 次の記述をグループワークの展開過程の順序に並べた場合、その組み合わせとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- A 参加メンバーが相互に自己紹介した後、田中職員が司会をしてグループでの目的について提案し、各自の意向を尋ねた。
- B 相談して決めた花見会が実現し、3人の会話や笑顔が見られるようになり、青木さんは、趣味の俳句サークルにも参加し始めた。
- C メンバーから活動のプログラムを提案してもらい、青木さんを中心に、いくつかの案に対して各自の目的の明確化と具体的な段取り等の打ち合わせが始められた。
- D 同時期入所の3人の現在の状況についてアセスメントし、グループへの参加を呼びかけた。

(組み合わせ)

- 1 A→D→B→C
- 2 A→D→C→B
- 3 D→A→B→C
- 4 D→A→C→B
- 5 D→C→A→B

レクリエーション活動援助法

問題 35 セラピューティックレクリエーションに関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A セラピューティックレクリエーションには三つのカテゴリーがある。プログラムを作成する際、そのうちの二つ以上に重点を置く。
- B 「フロー」を導くには、利用者の能力や技量とレクリエーション活動の難易度や挑戦レベルとが釣り合うように援助内容を計画する。
- C 援助者のかかわりが利用者の主体性より大きくなるように意識して援助する。
- D レクリエーション活動を通じて、利用者が自分の生活の質を高められるように援助する。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 36 「ゲートボールクラブ」の高齢者の中で、活動に参加しなくなった人たちがいる。その人たちへの援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ゲートボールを生きがいとしてきたGさんは、先日ゲートボールの勝負の判定をめぐって仲間と大喧嘩して以来、参加しなくなった。勝負にこだわるGさんに対して、勝ち負けのない別のレクリエーション活動を勧めた。
- B Kさんは、強い腰痛となり、ゲートボールに参加しなくなった。腰痛の治療にはゲートボールが有効と考えて、引き続き参加するように勧めた。
- C Hさんは、家族に要介護者ができたため、介護に時間を取られ、参加できなくなった。ホームヘルプサービス等を利用しながら、自分の時間を作り、再び参加するように勧めた。
- D Sさんは、いつも地域のボランティアの人と一緒に参加していたが、そのボランティアの都合がつかなくなり、参加しなくなった。そこで、そのボランティアの協力が得られる時間でできる別のレクリエーション活動に参加させた。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 37 特別養護老人ホームにおけるレクリエーションに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護職員は、利用者の生活に最も近い援助者として、他の専門職よりも率先してかわり、常に指導的立場で援助していく。
- B 計画を立てる際には、利用者の意見を聞くとともに、専門職間の連携を図る。
- C レクリエーション活動は、施設の年間行事として行えば十分である。
- D 援助者は、気持ちよい空間や、生活の中での心地よさを考えて、側面的に援助していく。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

(レクリエーション活動援助法・事例問題)

次の事例を読んで、問題38から問題40までについて答えなさい。

〔事例〕

P町にある痴呆性高齢者を対象とするデイサービスセンターでは、活動プログラムの一つとしてレクリエーション活動を行っている。利用者の一人である元大工のMさん（79歳・男性）は、日常生活動作は何とか保たれている。言語的コミュニケーション能力は、問いかげに「うん」「いや」などと応答するくらいで、ほとんど会話はしない。心身の活動性の低下が見られる。オセロゲーム用品の製作など手工芸活動を好む。一方、こだわりが強く、気分がむらがあり、活動への参加を勧めても「いや」と言い始めると、テコでも動かないことがある。

問題 38 心身の活動性の低下が見られるMさんに対するレクリエーション担当者の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 活動中居眠りをしたときは、即座に起こし、続きをするよう促す。
- B レクリエーションの種目は、担当者があらかじめ吟味して準備した二つの中からやりたいものを一つ選んでもらう。
- C 活動性を高める目的で、動きの激しい種目を用意する。
- D 個別的な活動ではなく、刺激の多い集団的な活動を提供する。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 39 手工芸活動におけるレクリエーション担当者のMさんへの対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A レクリエーションの活動内容について説明する場合、実演して行う。
- B 活動の手順の説明は、一工程ずつ分けて行う。
- C Mさんは大工だったので、手工芸活動のリーダーに指名する。
- D Mさんへの働きかけは、身振り手振りでは行わず、言語的な働きかけのみで行う。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 40 オセロゲーム用品を作るグループ活動のとき、Mさんが、「いや」と言った。このときのレクリエーション担当者の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A この活動はMさんが得意なのだからと励まし、活動への参加を指示する。
- B Mさんをそのままにしておいて、他のメンバーと活動を開始する。
- C Mさんにも同じように材料を配って、見守りながら、他のメンバーと活動を開始する。
- D Mさんが活動をしない理由を答えるまでは、グループ活動を開始しない。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | × | ○ | × | × |
| 4 | × | × | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

老人・障害者の心理

問題 41 発達に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ピアジェ (Piaget, J.) は、認識や思考の発達には、4つの段階があることを明らかにした。
- B エリクソン (Erikson, E.) は、人格発達の8つの段階において、自我同一性の形成の理論を柱に挙げて、各段階には特有の危機とその克服があると指摘した。
- C ユング (Jung, C.) は、40歳前後を「人生の正午」に例え、それ以降の中年期を老年期に至るまでの準備期間であると説明した。
- D フロイト (Freud, S.) は、ライフサイクルとは出発点(誕生)から、終了点(死亡)までの過程(旅)であり、人生の各段階は階段を上がるように進んでいくと述べた。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | ○ | × | × |
| 4 | × | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 42 脳血管障害などにより脳に損傷を受けた場合に見られる随伴症状に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 右利きの人が脳を損傷し、身体の左半身が麻痺した場合、失語症を伴うことが多い。
- B 主に脳の右半球を損傷した場合、自分から見て左側にある食べ物に気づかなかつたり、廊下の左側にぶつかるなど左側無視の症状が見られることがある。
- C 服を着ようとして袖ではないところに手を通したり、裏表を間違えてしまうのは、上肢の運動麻痺のためである。
- D 高次脳機能障害の場合、少し前にしたことを忘れてたり、ガスを消し忘れるなどの日常生活に支障をきたすような記憶障害が起こりやすい。

(組み合わせ)

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | A | B |
| 2 | A | C |
| 3 | B | C |
| 4 | B | D |
| 5 | C | D |

問題 43 障害者が社会に参加しようとするときに会うバリア（障壁）とその影響に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 不特定多数の者が利用する特定建築物や公共交通機関などが、高齢者や障害者にとっても利用しやすいものとするため、いわゆるハートビル法や交通バリアフリー法などが制定された。
- B 外出したときにじろじろと見られたり、無視されたりすると疎外感や孤独感が生じる。このような周囲の態度によって生じるバリアを心理的バリアという。
- C 資格や免許の取得，就学，就労などにおいて障害を理由に受ける差別を物理的バリアといい，障害者の人権や尊厳を損ないかねない。
- D 情報的バリアは，障害者の社会参加の機会を制限し，社会からの隔絶感をもたらしやすい。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 44 リハビリテーションにおける心理的援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 中途障害で家庭や社会における役割の喪失感が大きい場合、小さなことでも、本人の役割を見つけて不安を解消するような援助が大切である。
- B 脊髄損傷者の場合は、損傷部位が特定され、予後の見通しが立ちやすいので、医師が早期に障害について説明すれば障害は受容される。
- C 障害児の親の掃合、療育を円滑に進めるためには、将来の見通しを含めて、親に障害について正しく理解してもらうようなサポートが必要である。
- D 絶望感に陥ったり悲観的になりやすい神経難病の人の場合、生きる張りになるようなことが見つけられるように援助することが大切である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 45 高齢者への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A カウンセリングにおいては、相手の話を傾聴することが原則である。
- B 高齢者のうつ病は「年のせい」もあるので、専門的な治療はあまり必要ない。
- C 自信を喪失した高齢者には、蓄積している知識や経験を活かす場を設定するとよい。
- D 死別体験をした高齢者には、その体験を引き出し語らせることが最も有効である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 46 高齢者とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 高齢者が「つまらない話だが・・・」と言ったとしても、話をよく聞かせてもらう。
- B 会話に自信がない高齢者と話すときは、「うまく伝わっている」「話に意味がある」というメッセージを伝える。
- C 「こうしなさい」などのように、ゆっくり指導する口調で話す。
- D 「それはいけません」のような否定的な言い回しは避ける。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 47 精神障害者への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ピアカウンセリングでは、当事者のことを最もよく理解しているソーシャルワーカーなどの専門職が相談に当たる。
- B リハビリテーションには、個人の自己実現を目指し、必要なサービスなど環境的条件を活用した地域自立生活支援のプログラムが含まれる。
- C ホームヘルプサービスでは、障害の特性を理解し、信頼関係を形成したうえで、「関係づくり」を土台にした具体的な援助を行うことが重要である。
- D 薬物依存症者のセルフヘルプグループが運営するダルク（DARC）では、グループミーティングなどを行いながら、傷ついた心と身体を癒して日常生活への回復を目指している。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 48 痴呆に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 一過性の意識障害は、痴呆とはいわない。
- B 痴呆の知能評価スケールである改訂長谷川式簡易知能評価スケールには、動作性の課題が含まれないが、MMS (Mini-Mental State Examination ; MMS E と略されることもある。) には含まれる。
- C 痴呆性高齢者の介護は、その人の人格を尊重して生活障害の軽減・予防、いわゆる問題行動の安定化などを図るように進める。
- D 痴呆性高齢者が失敗したら、失敗は失敗と正しく認識させるために、できるだけ穏やかに注意し、失敗を訂正するのが対応の原則である。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

家政学概論

問題 49 電子レンジ加熱に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A マイクロ波を照射させることにより、食品を加熱する。
- B 適する容器としては漆器、メラミン樹脂容器、金属容器がある。
- C 鶏卵を割らずにそのまま皿にのせて加熱すると、短時間でゆで卵ができる。
- D さつまいもは短時間で熱せられるが、甘さが乏しいものとなる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 50 減塩の工夫に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ゆずやしそなどの香味食品を利用する。
- B 一日の食塩使用量の範囲で塩味のきいた一品を加える。
- C 鮮度の良い食材を使用する。
- D 酢やだしの使用を控える。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 51 次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして, 正しいものを一つ選びなさい。

「第六次改定 日本人の栄養所要量」によれば, 70歳以上の人のカルシウムと鉄の所要量(1日当たり)は, 男女共にカルシウムは「A」, 鉄は10mgである。望ましいとされている脂肪所要量は, 脂肪エネルギー比率で「B」, 食塩の摂取量は一日「C」未満を目標とする。

- | | A | B | C |
|---|-------|--------|-----|
| 1 | 300mg | 20~25% | 10g |
| 2 | 300mg | 20~25% | 20g |
| 3 | 300mg | 50~55% | 20g |
| 4 | 600mg | 20~25% | 10g |
| 5 | 600mg | 50~55% | 20g |

問題 52 一般家庭用の電気洗濯機には, かくはん式, 渦巻き式, ドラム式等がある。ドラム式洗濯機に関する次の記述のうち, 誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 たたき洗いを応用したものである。
- 2 乾燥機と一体型になっているものが多い。
- 3 洗濯時間は長い, 洗濯物を傷めにくい。
- 4 泡のたちにくい洗剤を使うとよい。
- 5 渦巻き式洗濯機に比べると水の使用量が多い。

問題 53 平成15年国民生活基礎調査に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 65歳以上の者を家族形態別に見ると、「単独世帯」の者は「夫婦のみの世帯」の者よりも多い。
- B 65歳以上の者の単独世帯では、女性が7割以上を占める。
- C 高齢者世帯（65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯）の所得の内訳では、稼働所得が7割を占める。
- D 公的年金・恩給を受給している高齢者世帯のうち、「公的年金・恩給の総所得に占める割合が100%の世帯」が、半数を超えている。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 54 環境に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 環境省によれば、平成13年度における生活系ごみを容積比で見ると、約4割をプラスチック製容器が占めている。
- 2 冬の暖房時に流出する熱の2割、夏の冷房時に流入する熱の3割が窓や扉などの開口部を経ている。
- 3 2枚のガラスの間に乾燥空気等を封入して断熱効果を高める複層ガラスの我が国における普及率は、ドイツ・フランスと比較すると低い。
- 4 いわゆる次世代省エネルギー基準（平成11年3月）に適合する住宅については、住宅金融公庫融資において、金利の優遇や割増融資が行われている。
- 5 環境マネジメントシステムの代表的な国際規格はISO14001である。

問題 55 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 消費者基本法（平成16年6月に消費者保護基本法から名称が変更されたもの）は、ローン提携販売、割賦購入あっせんなどに関して事業者を規制している。
- B 消費者契約法では、消費者は、事業者が契約の締結を勧誘する際に事実と異なることを告げた等の場合、この契約を取り消すことができる。
- C 金融商品の販売等に関する法律は、金融商品業者等に対して、金融商品販売時の説明義務と、違反時の損害賠償責任等を定めている。
- D 国民生活センターは、独立行政法人国民生活センター法に基づき、消費者相談、消費者情報の提供、商品テストなどの事業を行っている。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 56 食品の保存方法に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 加熱は、煮る、焼く、蒸す、油で揚げる等により食品に付着している微生物を殺菌したり、食品中の酵素を不活化する方法である。
- 2 酢漬は、pHを低下させることにより微生物の発育を抑制する方法である。
- 3 塩蔵・糖蔵は、食品の水分活性を低下させる方法である。
- 4 食品添加物による保存方法として、例えばソルビン酸カリウム等が漬物類、魚肉ねり製品などに使用が許可されている。
- 5 放射線照射は、放射線の照射による殺菌効果を利用する方法であり、我が国では農作物全般に利用されている。